

自分らしく
たくましく

高等部通信

豊かな感性をもち、心身ともに健やかな生徒

自分で考え、判断し、生活することを楽しむ生徒

お互いの良さを認め合い、ともに活動する生徒

働くことを喜び、自ら社会に参加する生徒

宮城教育大学附属特別支援学校

令和2年12月18日(金) No.21

後期教育実習が終了しました。

12月1日から始まった後期教育実習が終了しました。8日間という短い期間でしたが、生徒は作業学習を中心とした授業などを通して、ファイトあふれる9名の実習生と、たくさんかかわりをもつことができました。実習生には、実習で得た学びを糧に、社会へ大きく羽ばたいてほしいと願っております。



お別れ会では、鈴の音色に合わせて「クリスマスソング」を披露し、生徒も楽しんでいました。

附属幼稚園交流会

がありました！

12月15日(火)、遠隔会議システムを使用して附属幼稚園との交流会が行われました。短い期間ではありましたが、生徒会が中心となって準備を進めました。高等部ホールで行った、リモートでの交流会では、高等部の生徒が考えたレクリエーションやリモートを通して合同の合唱を行いました。その後、作業学習の紹介では、各作業室から園児が楽しめるように作業内容を説明したり、卒園記念品に関するプレゼンテーションを行ったりするなど、それぞれの班で幼稚園児と交流を深めました。リモート越しではありましたが、園児に温かい笑顔に向け、生き生きと活動する高等部生徒の姿を見ることができました。

歓迎の言葉



附属幼稚園の園児たちと楽しいひと時を送ることができました。

作業班の紹介



(文責：板橋 努)